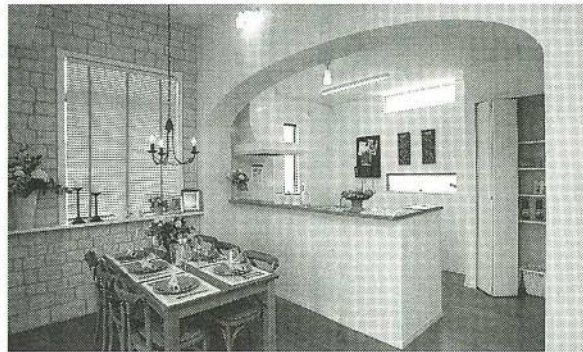


ポラス ボウヴェイラージュに新提案

浦和美園で87棟分譲 自然素材で「経年美」

ポラスグループの中央住宅は、戸建分譲住宅「ボウヴェイラージュ浦和美園イストワール87」（全87棟）の販売を始めた。埼玉高速鉄道浦和美園駅周辺で進む土地区画



①モデルハウス外観、②珪藻土や凝石貼りの壁、銘木床など素材を生かした室内

整理事業地「みそのウイングシティ」内の約1万5400平方メートルに全区画150平方メートル以上の敷地を確保し、自然素材を活用するなどして素材の経年美を生かして成熟する住まいを創出する。

ボウヴェイラージュシリーズのコンセプト「フライングの美しい街並み」に、経年美を加えて「人生を深く味わうこと」を新たなコンセプトにした。

て、街と歩行者の安全に配慮する。全棟ともポラスオリジナルのカラー瓦を採用。外周は落ち着いたブラウン屋根に軒の出や水平・垂直ラインを組み合わせたレジデンス街区、中央は南仏の小都市をイメージ

したオレンジ屋根のトッド街区、北側にサンレッドの屋根のモダン街区と外観デザインに差を付ける。内装は、オリジナルの珪藻土、無垢の木材、銘木床などを多用した。4棟のモデルハウスは、モザイクタイルのカウンターと、塗装を選択できる桐材による壁が印象的な「フレンチハウス」、杉の端材を組み合わせた素材感と調湿作用を引き出すシダーパネルで壁を仕上げた「こもれびの家」、珪藻土塗りで仕上げたならかな曲線アーチを導入した「リゾートハウス」、大型リビングと一体空間のスキップアトリエを設けた「アトリエの家」と異なるブラウンスタイルを用意した。各棟とも広い敷地を生かして家庭菜園スペース

を用意するほか、ウッドデッキやタイルテラスなど屋外にもくつろげる空間を用意する。2×4のマインドスクエア事業部と、木軸の戸建分譲事業部による社内JV事業。それぞれが得意分野を生かして設計した。

全棟とも認定低炭素住宅。耐震等級3相当の耐震性能を確保する。埼玉高速鉄道線浦和美園駅から徒歩13分。第1期19棟は150〜160

平方メートルの敷地に97〜116平方メートルLDK〜4LDK。価格は4000万円台前半〜5000万円台前半を予定している。5月にウェブサイトを開設し、1カ月に40件程度と事前想定を上回る問い合わせがある。反響は東京都内25%、さいたま市21%、川口市18%など。大半が一次取得層。販売開始に合わせて、チラシ折り込みなど集客を本格化する。